

一般質問通告一覧表（令和4年第2回定例会） No. 1

順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	美島 盛秀 (議席番号14番)	1 新型コロナ対策について 2 職員の規範向上の取り組みについて 3 農業振興について	5月6日に伊仙町でクラスター発生の発表があったが、終息の目処もなく現在も爆発的な拡大が続いているが、発生原因や対策本部の取り組み状況の詳細について問う。 公務員として規範は、絶対的な遵守義務であり、綱紀粛正に繋げる道徳的観念でもあったと考えられる。大久保町政の6期目がスタートしたばかりであるが、役場内では、職場の異動の希望や、退職希望、体調不良を訴え、休職や入院さえ余儀なくなっている職員がいると聞くが、この様な現状を町長はどう認識されているのか問う。 気候変動等や、農作業、春植えの遅れ、さらにはロシアによる、ウクライナ侵攻の影響での、肥料、飼料、燃料等の高騰によって、農家は窮地に追い込まれている。この様な現状を受け、今後どの様な取り組みを考えているのか、これまでの糖業、畜産、園芸等の取り組みでの課題解決のできていない部分も含めて町長の認識を問う。併せて、新規就農支援事業の制度についての説明を求める。	町長 教育長
2	久保 量 (議席番号2番)	1 農業における経費高騰対策について	①畜産農家においては、これまでの子牛価格の高止まりもあり、農家の母牛群における産子の進んだ高齢牛の比率が高くなっており、こうした母牛からの産子は価格が低く経営悪化に拍車をかけている。しかし、母牛の更新には多大な経費とその間の収入が無くなるため、大きな障壁となる。母牛の更新が円滑に行えない農家においては、持続可能な経営が困難となっていくことから、この問題を解決するために過去、国の事業で行われていたような生産牛の更新事業を行うことにより子牛の商品性向上による所得向上による経営の安定を図る施策を講じることができないのか問う。 ②農業全般において肥料価格高騰は共通した懸念事項であると思われるが、サトウキビの増産によるハカマやバカスの産出量の増大と、畜産におけるバカスの敷料利用促進のための助成による子牛の品質向上と併せて敷料利用促進による牛糞の排出量増大を軸に、堆肥センターをフル活用した堆肥の生産を行うために見合った重機等の施設整備や、こういう時だからこそ、現在行われている堆肥助成事業の補助率や事業量の拡充で堆肥利用を促し、地力向上による化学肥料使用量削減での所得向上と更なる積極的な堆肥利用を行う農業の浸透が期待できるような取り組みを行う計画がないのか問う。	町長
3	大河 善市 (議席番号3番)	1 コロナウイルス感染関連について	①伊仙町総合体育館で4月に開催されたスポーツイベントでの県内最大のクラスターの発生及びほーらい館でのコロナ感染者発生について、伊仙町コロナ感染対策本部はどのような対策を実施したか問う。	町長 教育長

一般質問通告一覧表（令和4年第2回定例会） No. 2

順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
3	大河 善市 (議席番号3番)	1	<p>②現在の伊仙町内のコロナ感染者は子どもの感染が多い中で、町内の中学校が町外での宿泊研修にてコロナ感染が発生したとのことだが、どのような対策等をとって実施したのか問う。</p> <p>③現在のコロナウイルス感染について、陽性者が軽症のために自宅療養者が多い中で、どのような支援が行われているか問う。</p> <p>④今年度の各種行事予定及び今後のコロナ感染状況での実施判断をどう考えているか各課に問う。</p> <p>⑤地方創生臨時交付金の各課の活用計画について、コロナ感染支援金が受けられない方々への支援ができないのか問う。</p>	町長 教育長
		2	<p>①さとうきび・畜産・園芸の各農家で肥料・飼料・資材及び燃料等の高騰で農家経営を圧迫している現状での支援策について問う。</p> <p>②さとうきび種苗作業の現状と人員確保の対策及び日当支払の現状について問う。</p> <p>③堆肥センターの今年度の堆肥供給及び畜産農家へのバカス供給について問う。</p> <p>④堆肥センターへの堆肥のペレット化施設導入計画について問う。</p> <p>⑤先般、徳之島で開催された奄振法についての意向調査が実施されたが、伊仙町が推薦した各代表の構成及びどのような要望等があったのか問う。</p>	町長
4	清 平二 (議席番号7番)	1	伊仙町において新型コロナウイルス感染拡大防止策について問う。	町長
		2	今後はタブレット等を利用し、紙媒体から電子媒体への計画について問う。	

令和4年第2回定例会開会に伴う一般質問通告(確定版)です。

(今定例会の一般質問通告者は、4名です。)

令和4年6月6日(月)
伊仙町議会議長 前 徹志